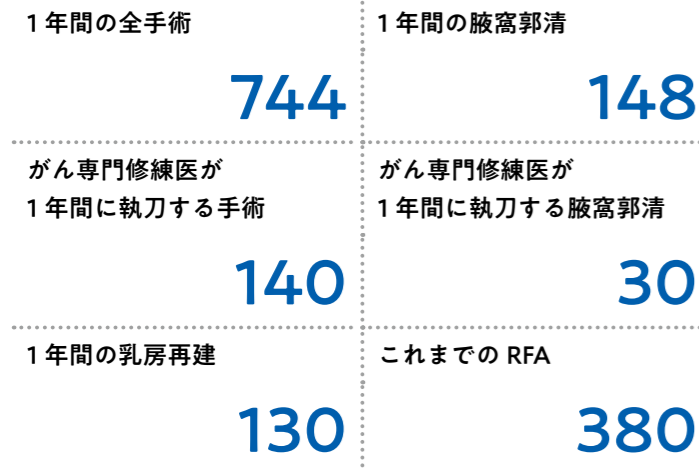


# 国立がん研究センター中央病院で 乳がん診療のスペシャリストに！

## わたしたちが、研修で提供できることは・・・

当科では、初診からの診断、手術を含めた局所治療、また術後内分泌治療、術後後のサーベイランスを行っています。  
乳がん治療は集学的で多岐に渡り、細分化がますます進んでいます。また、手術については低侵襲化が進み、腋窩郭清の症例数も減少傾向にあります。しかし一方、依然として**原発性乳がんにおける治療の柱は手術**といえます。当科での研修は豊富な手術件数(2023年度 744例)を背景に、**標準手術はもちろんのこと、拡大手術から先進の低侵襲手術まで多くの症例を執刀・経験**することで、**局所治療に妥協のない乳腺外科医**を育てます。ラジオ波焼灼療法(RFA)に関しては国内における指導的立場を担い、内視鏡手術に関しても積極的に取り組んでいます。また、腫瘍内科・病理診断科・遺伝子診療部など院内関連分野、研究所とも柔軟に連携をとることにより、それぞれの目的に合った研修が効率よく行えます。さらに、医局の所属の有無にかかわらず他大学との**連携大学院**を通じて、**学位の取得**も可能です(2013-2021年の間に、3名が連携大学院で学位を取得しました)。  
当科で学ぶレジデントは医局に所属していない医師も多数在籍し、卒業後も当院を含めた地域基幹病院において第一線で活躍しています。当科で研修し、**未来の乳がん治療を牽引していくリーダー**としての乳腺外科医を目指していきましょう。



豊富な症例数と妥協のない指導で、**未来を牽引するリーダー**としての乳腺外科医を育てます

## ■プログラム

### § 推奨するコース

#### ●レジデント2年コース

研修目的・内容	乳がんを中心とした乳房疾患全般の研修を行い、乳腺認定医・乳腺専門医(乳腺外科専門医)の取得を目指す。臨床研究、Translational research (TR) に取り組み、研究成果について、国内・国際学会での発表、論文執筆を行う。
研修期間・ローテーション	1年目:乳腺外科に6か月以上在籍し、残りの期間は規定のCCM勤務、希望により他科研修を行う。 2年目:乳腺外科、関連診療科(腫瘍内科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科等)に在籍する。他院での交流研修、腫瘍内科専門医(がん薬物療法専門医)取得のためのローテーションも可能。 ※連携大学院の入学が可能です。詳しくはご相談ください。

#### ●がん専門修練医コース(2年間)

研修目的・内容	乳がんを中心とした乳房疾患全般の研修を行い、レジデントの指導的役割を担う。乳腺専門医に相当する100件以上の手術執刀を、1年間で経験する。臨床研究、Translational research (TR) に取り組み、研究成果について、国内・国際学会での発表、論文執筆を行う。指導医のもと、外来研修を行う。
研修期間・ローテーション	1年目:乳腺外科に在籍し、手術の研修、科内マネジメントを学ぶ。 2年目:乳腺外科で自らの手術を確立させるとともに、病理診断科、研究所等に在籍し臨床研究を行う。 ※連携大学院の入学が可能です。詳しくはご相談ください。

### § その他のコース

#### ●レジデント3年コース

研修目的・内容	乳がんを中心とした乳房疾患全般の研修を行い、乳腺認定医・乳腺専門医(乳腺外科専門医)、腫瘍内科専門医(がん薬物療法専門医)の取得を目指す。臨床研究、Translational research (TR) に取り組み、研究成果について、国内・国際学会での発表、論文執筆を行う。
研修期間・ローテーション	1年目:乳腺外科に6か月以上在籍し、残りの期間は規定のCCM勤務、希望により他科研修を行う。 2-3年目:乳腺外科、関連診療科(腫瘍内科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科等)に在籍する。他院での交流研修、腫瘍内科専門医(がん薬物療法専門医)取得のためのローテーションも可能。 ※連携大学院の入学が可能です。詳しくはご相談ください。

#### ●レジデント短期コース

研修目的・内容	乳がん手術を中心とした研修に取り組む。
研修期間・ローテーション	6か月~1年6か月:乳腺外科研修。他科ローテーションも相談可能。 ※規定のCCM勤務が必要です。

#### 研修修了後の主な進路(2013年~)

国立がん研究センター中央病院 乳腺外科医員:6名、慶應義塾大学病院:5名、聖路加国際病院:1名、昭和大学病院:2名、東京慈恵会医科大学病院:1名、虎の門病院:1名、がん研有明病院:1名など